

入札心得

1 入札の一般注意

- (1) 入札書は期限までに必ず提出すること。
- (2) 入札者は他の入札者の代理人となってはならない。
- (3) 代理人が入札する場合は、入札前に委任状を提出し、入札書に代理人名を記入押印すること。

2 入札書についての注意

- (1) 入札は1件につき1業者1通とすること。
- (2) 入札者の住所氏名は、法人にあっては法人の住所及び法人名並びに代表者名を記入して会社印、代表者印を押印すること。
- (3) 入札金額はアラビア数字で、インク又は墨で記入し、頭書に¥の記号を付記すること。
- (4) 入札金額は訂正しないこと。
- (5) 既に入札した入札書の取換え、変更又は取消しはできない。

3 落札者決定の方法

- (1) 予定価格以下の最低価格の入札をした者をもって落札者とする。
- (2) 同じ入札価格を提示した者が2人以上あるときは、くじによって落札者を決定する。
- (3) 入札価格が予定価格を超える場合は、再度入札する。(入札は2回まで)
- (4) 再入札の結果、予定価格を超える場合は、最低価格を入札した者と協議し、その者と予定価格の制限の範囲内で契約する場合がある。

4 入札書に記載する金額

- (1) 課税事業者の場合は、消費税及び地方消費税を除いた価格を記載すること。
- (2) 免税事業者の場合は、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を記載すること。

5 契約金額

入札書に記載される金額にその10%に相当する金額を上乗せしたものとす

る。
なお、その金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとし、当該金額を切り捨てた後に得られる金額をもって申し込みがあったものとする。

6 その他

(1) 次の各々に該当する場合における入札は無効とする。

- ① 入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札
- ② 入札者又はその代理人が連合して入札したと認められる場合
- ③ 入札に際し不正の行為があった場合
- ④ 入札者又はその代理人が同一の入札について2以上の入札をした場合
- ⑤ 入札書に金額、氏名その他重要な文字又は押印が誤脱し又は不明である場合
- ⑥ 入札書の内容を訂正した場合
- ⑦ 同一の入札について2人以上の入札者の代理人となった者の入札
- ⑧ 前各号に掲げるもののほか、入札心得等で指示した条件及び契約当事者があらかじめ指定した事項に違反した場合

(2) 天災その他やむを得ない事由がある場合又は入札に関し不正行為がある等により競争の実効がないと認められ、若しくはそのおそれがあると認められる場合は、入札又は開札を取り消し、又は延期することがある。この場合、入札又は開札の取り消し又は延期による損害は、入札者の負担とする。

(3) 落札者は、落札決定の通知を受けた日から14日以内に契約を締結しなければならず、この期間内に落札者の責めに帰すべき事由により契約書等を作成しないときは、その落札は、無効とする。

(4) 落札決定者は、落札決定後契約締結までの間において予約完結権を第三者に譲渡してはならない。